



## ～新年のご挨拶 まちづくり委員会 会長～

### 新年あけましておめでとうございます

地区の皆様におかれましては、令和8年の輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、上久堅小学校創立150周年記念事業として、6月20日音楽会、10月18日運動会、11月8日記念式典が、多くの皆様のご協力、ご参加をいただき無事挙行でき感謝申し上げます。また、昭和51年11月に小学校へ埋めたタイムカプセルを、150周年に合わせて本来より1年前倒しで、埋設当時小学校在籍していた皆様、約80名の方が参加され10月5日に掘り起こしができました。一部を11月2日の地区の文化祭にて展示し、閲覧でき多くの皆さんと共有できました。

上久堅地区の諸行事や行事については、地区最大の行事である「ひさかたの火まつり」に関しては、30回の節目を迎えることができました。課題としまして、十三集落大松明神輿の担ぎ手不足にて、参加できない地区が発生しています。対処法を検討し、次回に繋げたいと考えております。

さて、第3次「上久堅地区基本構想・基本計画」7年目となりました。人口減少や少子高齢化が進み、役員の担い手不足が急務であり、持続可能な地域づくりに向けて事業や組織の見直しを検討しています。上久堅に合った自治会運営が望まれ、役員の負担軽減に繋がればと思います。

上久堅にはまだ皆さんと知恵を出し合って、今後生活しやすい地区にしていかなければならない点が多々あると思います。地区の皆様のお力添えとご理解をいただきながら、活動していきたいと思っております。

すべての皆様が、将来に希望をもって心豊かに楽しく暮らせる地区となれるよう考えております。今年も、地域の皆様方のより一層のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

上久堅地区まちづくり委員会 会長 原 雅彦



## 本年もよろしくお願ひ致します



## 「しきしまの家・自給家族」～執行役員視察研修報告～

昨年9月6日に、執行役員視察研修として、過疎対策に力を入れる豊田市杉本町の敷島自治区にある「しきしまの家」を視察しました。

敷島自治区は岐阜県の県境に近い中山間地にあり、2010年から独自の過疎対策を始め、10年間で40世帯・98人の移住者を受け入れてきましたが、それでも人口減と高齢化は止まらず、現在は人口約850人・世帯数315世となっています。過疎化が進んでも住民同士が支え合って持続できる共同体を作り上げようと、有償ボランティア「しきしま支え合いシステム」を2023年4月にスタートし、拠点として「しきしまの家」を開設。

「しきしまの家」は気軽に立ち寄れるカフェを併設し、暮らしの中で困っている人と、困りごとを解決できる人をつなぐ有料のマッチングサービスを行っており、元気な高齢者や技能を持つ住民らが有償で手伝いを行っています。また、耕作放棄地、獣害、農作業委託など、農地に関する相談窓口も行っており、後継者不足による農地の荒廃を食い止めようと地域支援型農業を取り入れ、消費者が生産者に資金を前払いして、定期的に作物を受け取る「自給家族」を2020年に立上げ、農業や農地を維持する取り組みを行っています。

「自給家族」は、玄米一俵につき3万円で、集落の全世帯が参加する営農組合と、3～10年の長期栽培契約を結び、「自給家族」からの収入は、後継ぎのいない2,4畝の水田の耕作経費に充てています。希望する「家族」には、田植えや稲刈りだけでなく、みそ造りなど“里帰り”の機会を用意している他、契約決算時に米のポイントがもらえる水田の草刈り支援作業などがあり、外部から地域の存続にかかわる「関係人口」を増やしています。

敷島自治区と上久堅地区は、人口や環境など似たところもあり、過疎対策は重要な課題となっています。改めて皆で地区の課題を見つめ、知恵を出し合い、住民同士や地域に関わる人々と支え合う関係性を築くことで、少人数の山村ならではの、持続的な地域づくりが必要だと感じました。



「しきしま支え合いシステム」について熱心に聞く執行役員



補助金を活用し作られた防護柵と粃乾燥調製施設

## 健康福祉委員会独り暮らしの会 ふれあい交流会を実施

健康福祉委員会では、11月6日（木）に独り暮らしの高齢者を対象にふれあい交流会でバスハイクを行いました。

独り暮らし対象者11名・健康福祉委員・民生児童委員・ぬくもりの会・区長・まちづくり委員会会長・保健師・事務局の総勢29名で駒ヶ根市のレストラン菜々ちゃん、くらすわの森に行きました。

天気も良く、紅葉が見ごろの行楽日和で、参加者の皆さんに楽しい1日を過ごしていただきました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

今年度の事業を活かし、来年度以降もより良い事業にしていきたいと思ひます。



くらすわの森に隣接する養命酒工場  
で記念撮影

# 「絵図で辿る知久氏の歴史」・「知久のお殿様」のご案内

令和6年度より、まちづくり委員会観光振興特別委員会で行ってきました、知久氏の歴史をまとめた「絵図で辿る知久氏の歴史」（映像）と「知久のお殿様」（絵本・日赤奉仕団）が完成となります。これら映像と絵本は、上久堅地区のシンボルの1つでもある神之峰を広く知ってもらう機会として作成しました。現在、上久堅郷土歴史資料館には、戦国時代から江戸時代までの知久一族の歴史絵が展示されております。そこには、観光振興特別委員会の委員の方が調査・研究した知久氏の歴史についての解説がありますが、その歴史絵と解説について、その委員の方を中心に委員会として内容を検討し、映像化と音声ファイルにしてデジタル化しました。そのデジタル化したものをYouTubeにアップし、QRコードを読み取ることで、誰でも視聴できるようにしてあります。

また、絵本については上久堅全戸配布、市内小中学校・図書館等に配布予定です。一般の方には100冊限定で販売予定です。（税込1,000円）

今後の活動として、上久堅HP・観光パンフレット・公民館報・各種行事のプログラム等へQRコードを印刷し地域内外にPRしていきたいと思っております。

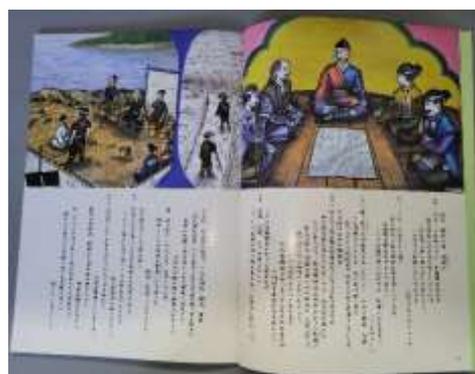
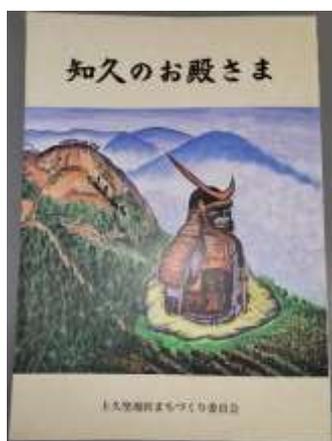
最後になりますが、作成にあたりご協力いただきました方々に感謝申し上げます。また、映像については飯田市よりムトス飯田助成金を利用し作成いたしました。



【映像】「絵図で辿る知久氏の歴史」  
オープニング



映像はこちらの二次元コード  
からご覧いただけます。



【絵本】「知久のお殿さま」